

令和5年度第1回健康計画推進委員会会議録

日 時	令和5年8月24日（木）13時30分～15時5分
場 所	大栄農村環境改善センター 大会議室
出席者	<p>【委員】（敬称略） 仲、荒川、天野、濱口、小野塚、絹見、中本、田村、松本、藤友、竹原、荒木、坂本 13名（欠席3名）</p> <p>【事務局】 吉岡、木村、塚本</p>
<p>レジメに沿って進行。</p> <p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ 健康推進課 吉岡課長</p> <p>3. 自己紹介</p> <p>4. 委員長、副委員長の選任（P1～2） 立候補はなく、事務局より推薦。 委 員 長：中本康則氏（自治会長会代表） 副委員長：竹原光余氏（食生活改善推進員連絡協議会）</p> <p>5. 協議および報告</p> <p>(1) 特定健診及び各種がん検診の受診率の推移、がん発見の推移（P3～4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策で集団健診は予約制、1回あたりの受診数が制限されるため、開催回数を増加して実施。</li> <li>・コロナ禍以前と比較すると、特定健診、大腸がん以外は受診率が低下しているため、勧奨等声掛けを継続していく。</li> <li>・過去10年間健診でのがん発見が、胃がん、大腸がんで毎年ある。</li> </ul> <p>(2) 健康計画6つの項目に対する行政の取り組み（P5～8）</p> <p>①運動習慣の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北栄スポーツクラブと連携し、運動教室を開催。町民アンケート結果から、運動習慣がある人の割合が若い世代で低いので、参加しやすいよう休日や夜間の日程でも開催した。</li> <li>・コロナ禍のためTCCを活用して、テレビ健康講座を放映。</li> </ul> <p>②健全な食生活の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こども園との連携ではR4は由良こども園でこどもが主役のクッキングを実施。</li> <li>・食生活改善推進員養成講座を開催し、会員増加を図った。次回は令和6年度開催予定。</li> </ul> <p>③心の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自死予防週間や強化月間に町報で「自死予防」を啓発や、予防週間に啓発グッズを配布。</li> <li>・令和5年度は民生委員を対象に「ゲートキーパー研修」を開催予定。</li> </ul> <p>④歯と口の健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦、ふしめ歯科検診を継続して実施。セット健診時には歯科衛生士の個別歯科相談を行い、お口の健康に関心を高める機会としている。</li> <li>・令和4年度は、テレビ健康講座で歯科医師による講演を放映した。また令和5年度の健康推進等合同研修会でも「お口の健康」について歯科医師講演会を開催した。</li> </ul> <p>⑤喫煙・飲酒対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民アンケートでは全体の喫煙率は低下しているが、子どものいる家庭での喫煙が</li> </ul>	

課題となっている。母子手帳交付時、乳幼児健診等、機会を捉えて禁煙、受動喫煙防止について啓発している。

- ・ 飲酒については、特定保健指導や健康講座、町報等での啓発や、小学校6年生を対象に生活習慣病予防講演会でアルコール依存症についても学習し、講演内容をYouTubeで限定公開することで保護者へも啓発。

⑥生活習慣病の早期発見・早期治療

- ・ 集団健診の健診回数を増やす、午後開催を設ける、人間ドックの対象年齢に70歳を追加する等して、健診を受けやすい環境整備に引き続き努めた。北栄町の人間ドックは、国保外の方も対象としている。
- ・ 特定健診は、過去3年間の受診や通院状況に応じて7種類の勧奨はがきを委託業者から年3回発送した。
- ・ 令和5年度から高齢者の健診後フォローや未受診者への勧奨、高齢者サークルでのミニ講話を行っている。

【意見等】

- 人間ドックは、5歳刻みではなく2歳刻みの年齢を対象に出来ないか。また脳ドックやふしめ年齢にはセットドックで受診出来ないか。  
⇒中部で国保外でも受診出来るのは本町を含めて2町のみ。国保外も対象にすることで受けやすい体制としている。人間ドックを受診される方が30%程度と決まっており一部の方に助成することになっているようにも感じている。  
脳ドックは、委託できる医療機関がどのくらいあるかも確認が必要。頂いたご意見を、今後参考に検討させていただく。
- 中学3年生を対象にしたピロリ菌検査は、除菌治療の実施率はどのくらいか？  
⇒近年の治療率は100%。

(3) 各組織、団体の今後の取り組み

①北栄スポーツクラブ

- ・ 高齢者の運動教室を約20年開催しており、会員数は約150人。週1日または2日が選択できるが、殆どの方は週2日を選択されており、健康計画「運動習慣の定着」の目標に向け取り組んでいる。
- ・ 令和4年度からプールが温水化され、新規会員が少し増加した。
- ・ 運動教室も健康推進課と連携しており、教室参加後の運動継続の人が増加している。

②大栄小学校

- ・ むし歯の治療になかなかつながらない。今後懇談でも呼びかける。
- ・ 1年生から視力低下がある。メディアの普及や学校でもタブレット教材もあり、画面からの距離等、利用の仕方に注意する必要がある。
- ・ 医師による生活習慣病講演会は児童の気づきにもつながっており、今後も継続していく。令和5年度は9月に予定している。

③大栄小PTA

- ・ 親子で楽しみながら体力アップできる活動を予定している。

④北条こども園

- ・ マスク着用なしで過ごせるようになり、給食の食べ具合も良くなった。  
暑さで戸外での活動は出来ないが、プールの時間を長くする等工夫しながら体づくりを保障している。またコロナの影響かカウプ指数が上がっている児が見受けられる。
- ・ R5年度は食育講演会を開催し、家庭への啓発の機会としたが参加率が課題。またネウボラと連携して、心の健康について取り組む。

⑤北条こども園PTA

・講演会等の参加率が課題。参加につながる取り組みが必要。

⑥自治会長会

・健診の呼びかけを行っており、今後大腸がん検診に向け健康推進員と連携して説明会等を開催する。

⑦老人クラブ連合会

・健康寿命の延伸のため、運動、栄養、心の健康が大切。また環境のいい地域づくりも大切。令和5年度は運動会等企画して会員同士の交流を図る。

・令和5年度から月2回の健康マー جانを取り組み始めた。時間を2時間と決め、楽しく語り合う場となっている。

⑧健康推進員会

・研修会や説明会で、健診の大切さや、受診の仕方等受けている。これから自治会での大腸がん説明会を予定しているが、元気なうちは健診の大事さを感じにくい。町報や町放送だけでなく、ターゲットにより SNS の活用や、孫や子世代から親や祖父母世代へアプローチする等、新たな方法も検討必要。

⑨商工会

・本委員会で得た健康づくりに関する知識を、会員へも伝えたい。

⑩食生活改善推進員連絡協議会

・コロナも5類となり、自治会での活動もしやすくなる。講習会でフレイル予防、低栄養予防をテーマにするが、たんぱく質摂取が大切だということを伝えていく。

⑪住民代表

・以前は「歯は痛くなってから受診する」だったが、状態により何度も通院、また予約が取りにくいという事もある。本委員会で症状がなくても定期受診し、予防が大切ということを知り、ふしめ健診受診啓発や、歯も定期治療が大切ということをもっと周知して欲しい。

・自治会で「こけない体操」より少し強度のある「貯筋運動」を北栄スポーツクラブと連携して週1回している。これが他の自治会にも広がればと思う。

(5) その他

なし

※仲歯科医師よりコメント

・定期的に歯科検診を受け、むし歯、歯周病予防することで、全身の健康につながる。子どもの健診や学校では歯科検診あるが、高校卒業以降も定期的に受診することが必要。後期高齢歯科健診を1度受けると次年度以降は通知が届く。噛む事、飲み込み、活舌等も確認出来るので受診勧奨を。

・フレイルの段階で気を付けると、健康な状態に戻れる。フレイル予防には、栄養を摂って運動して社会参加することが大切。

・学校歯科健診後に治療につなげるには、親も子も一緒に歯科受診することも一つ。お口に異常なくても、3~4か月に1回の定期受診、入れ歯の方も6か月に1回受診して欲しい。

6. その他

次回日程 11月頃を予定